

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSエマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース」は、エマージング諸国の現地通貨建て債券への分散投資を通じて、相対的に高い金利収入と長期的な通貨価値の上昇を捉えることをめざして運用を行ってまいりましたが、2023年3月22日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

償還日(2023年3月22日)		第11期	
償還価額	9,903.87円	騰落率	2.18%
純資産総額	331百万円	分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。償還運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「新規設定ファンドのお知らせ／償還ファンド一覧」⇒「償還ファンド」タブを選択⇒本ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択



交付償還運用報告書

GSエマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース

追加型投信／海外／債券

第11期(信託終了日2023年3月22日)

作成対象期間: 2022年12月23日～2023年3月22日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

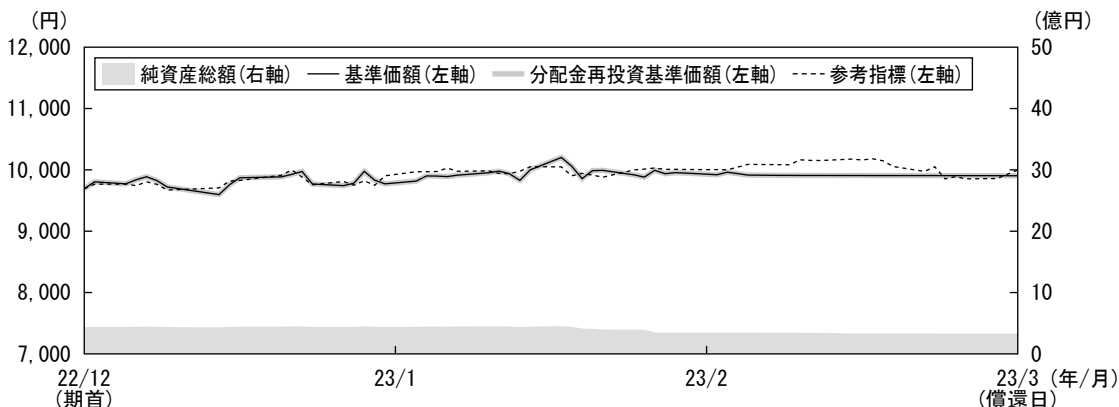
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2022年12月23日～2023年3月22日）



第11期首：9,693円

償還日：9,903円87銭

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+2.18%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指標はJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の9,693円から210円87銭上昇し、償還日には9,903円87銭となりました。

上昇要因

現地通貨建てエマージング債券市場（現地通貨ベース）のトータル・リターンがプラスであったこと、保有している債券からのクーポン収入などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

運用上、特筆すべきものはございません。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期 2022年12月23日～2023年3月22日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	25円 (1)	0.252% (0.014)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(23)	(0.231)	
(受託会社)	(1)	(0.008)	
その他費用 (保管費用)	2 (1)	0.018 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(1)	(0.012)	
合計	27	0.270	

期中の平均基準価額は9,870円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

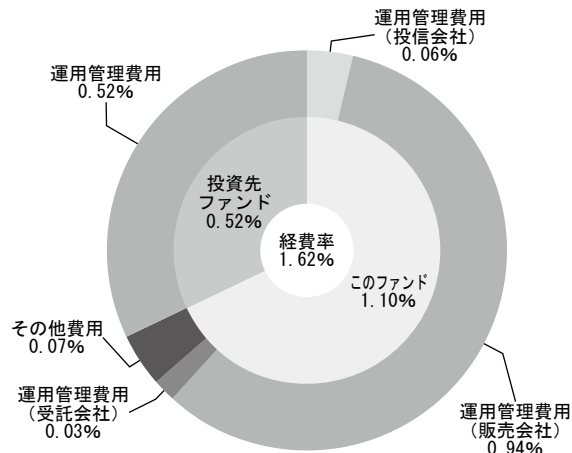
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.62%です。



経費率 (①+②)	1.62%
①このファンドの費用の比率	1.10%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

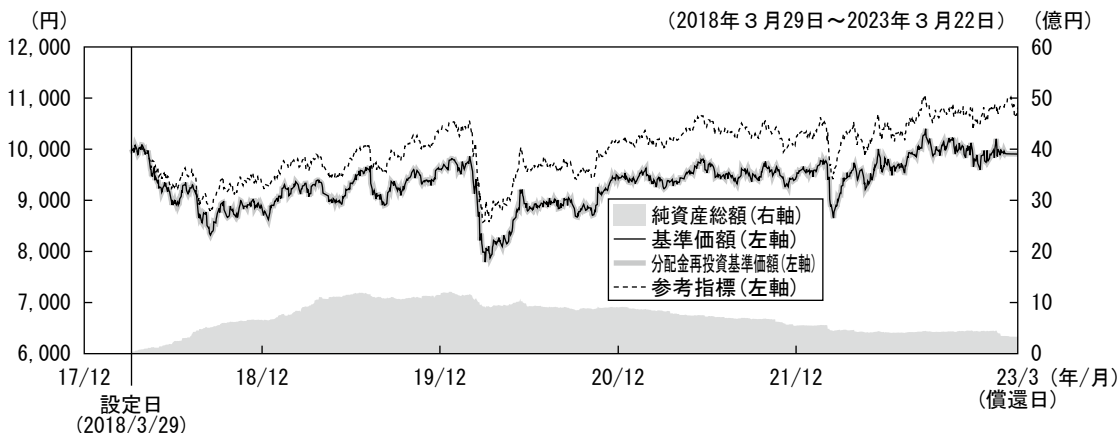
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2018年3月29日）の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/3/29 設定日	2018/12/25 決算日	2019/12/23 決算日	2020/12/22 決算日	2021/12/22 決算日	2022/12/22 決算日	2023/3/22 償還日
基準価額（分配落）（円）	10,000	8,706	9,607	9,421	9,454	9,693	9,903.87
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	－12.94%	10.35%	－1.94%	0.35%	2.53%	2.18%
参考指標騰落率	—	－7.43%	11.85%	－2.15%	0.72%	2.78%	3.14%
純資産総額（百万円）	34	649	1,147	904	547	435	331

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

■ 投資環境について

＜エマージング債券市場＞

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は上昇しました。期の前半は、米国の賃金上昇率やインフレが鈍化したことなどを背景に利上げ減速期待が強まったことなどから上昇しました。期の後半は、米国の利上げ継続観測や欧米の金融システムに対する懸念などが重石となる局面もあったものの、期末にかけて米金利が低下したほか、欧米の金融不安が後退したことなどを背景に上昇に転じ、現地通貨建てエマージング債券市場は前期末を上回る水準で期を終えました。国別では、コロンビアやドミニカなどの上昇が目立った一方、トルコやエジプトなどが下落しました。

＜エマージング通貨市場＞

当期のエマージング通貨市場は、対円で概ね上昇しました。通貨別では、メキシコ・ペソやチリ・ペソなどが相対的に堅調となった一方、エジプト・ポンドや南アフリカ・ランドなどが相対的に軟調となりました。メキシコ・ペソは、同国中央銀行が市場予想を上回る利上げを決定したことなどがプラス材料となりました。一方、エジプト・ポンドは、インフレが高水準であることに加え、I M F（国際通貨基金）プログラムの下で柔軟な変動為替相場制への移行を進めるなか、下落しました。

＜短期金融市場＞

当期において、米国T-B i l l 1 ヶ月は期首の3.67%程度から3.75%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオを概ね高位に組入れることによって、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。また、期末にかけては繰上げ償還に向けて本ファンドにおいて現金化を行いました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ＞

期首においては、南アフリカやメキシコの現地通貨建て債券のほか、南アフリカ・ランドやシンガポール・ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、コロンビアやチリの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラやイスラエル・新シェケルといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においては、南アフリカやチェコの現地通貨建て債券のほか、中国元やシンガポール・ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、コロンビアや中国の現地通貨建て債券のほか、エジプト・ポンドや南アフリカ・ランドといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス（米ドルベース）は、ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）を下回りました。

当期は、エジプトやトルコなどの現地通貨建て債券のポジション、エジプト・ポンドなどの通貨ポジションがプラス寄与となりました。一方、コロンビアやマレーシアなどの現地通貨建て債券のポジション、中国元などの通貨ポジションがマイナス寄与となりました。

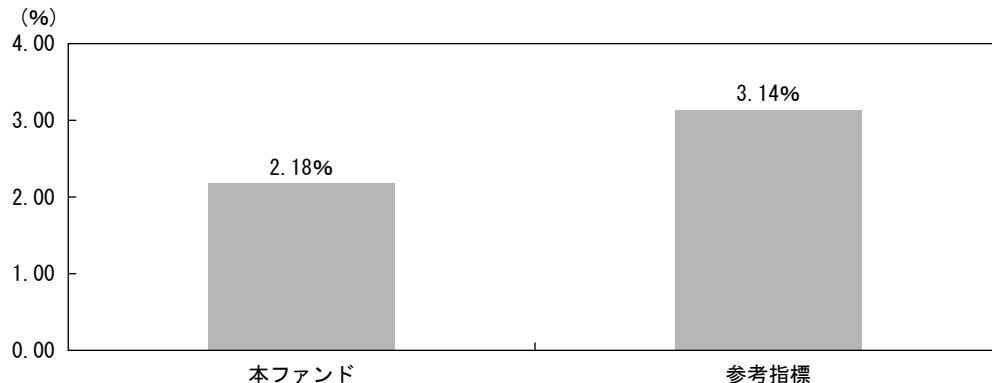
＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+2.18%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+3.14%となりました。

以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は9,903円87銭となりました。

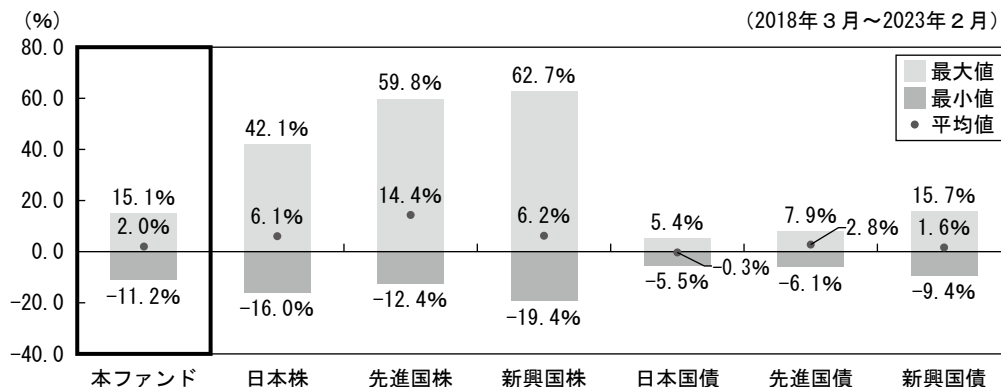
本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2023年3月22日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年3月22日（繰上償還日）まで
運用方針	エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年6月22日および12月22日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年3月から2023年2月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、本ファンドの騰落率においては設定日（2018年3月29日）から1年後の2019年3月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

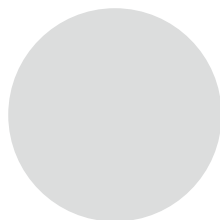
本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2023年3月22日現在）

○ 組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○ 資産別配分



その他現金等
100.0%

○ 国別配分



日本
100.0%

○ 通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	償還日
	2023年3月22日
純資産総額	331,318,057円
受益権総口数	334,533,972口
1万口当たり償還価額	9,903円87銭

（注）期首元本額は449,513,560円、当作成期間中において、追加設定元本額は389,140円、同解約元本額は115,368,728円です。

■ 組入上位ファンドの概要

組入れはございません。